

水稲直播特報

令和3年6月14日
魚津市
魚津市農業技術会議

直播の生育は、ここ数日の好天で概ね順調に進んでいます。
今後は、梅雨入りの前に溝掘りや中干しを実施しましょう。

ポイント1 稲体の健全化を図るため、中干しを徹底しましょう。

- ◎水管理をスムーズにし、中干しを効果的に行うため、中干し前に溝掘りを行いましょ。 (5mに1本程度)
- ◎1m間の茎数が100本程度になったら、遅れずに中干しを実施しましょう。

- 1 播種時期により生育に差があるので、生育状況を見て、中干しを開始する。
- 2 田面に1cmぐらいのひび割れが入り、足が沈まない程度の中干しを行う。
※ 極端に強く干しすぎると、穂数不足や除草効果の低下につながるので注意する。

ポイント2 中干し後の水管理は間断かん水を行いましょ!

◎幼穂形成期までは間断かん水を続け、根に酸素と水分を十分に補給しましょ。

【間断かん水の目安】

1日湛水、3日落水。

※茎数が多い場合や葉色が濃い場合は、落水期間を長くしましょ。



ポイント3 いもち病は適期に防除しましょ!

◎いもち病は予防が大切です。播種時に予防剤を使用していない場合は、必ず散布しましょ。

散布農薬	散布量	散布時期	散布時期
パダンオリゼメート粒剤	いもち病 ニカメイチュウ	3kg/10a	6月20日頃

※湛水状態(水深3~5cm)で散布し、4~5日間は田面を露出させない。
また、散布後7日間は落水・かけ流しをしない。
※ニカメイチュウによるさや枯れの被害が見られる場合は、地区の指導員にご相談下さい。

ポイント4 「エスアイ加里特号」を施用しましょ!

◎根の活力を高め、稲体を硬く健全に保つことにより、倒伏を軽減します。

エスアイ加里らくだ 施用量 15kg/10a ※施用時期：6月中~下旬
エスアイ加里カリ投げくん 施用量 4kg/10a ※施用時期：6月中~下旬
(パダンオリゼメート粒剤と同時散布が可能)

ポイント5 雑草の発生が見られる場合は、除草剤を散布しましょ!

◎雑草の種類や発生状況を確認し、適応した除草剤を選択しましょ。

雑草	除草剤	散布時期	散布量(10a当り)	備考
ノビエ 広葉雑草	クリンチャーバスME液剤(落水処理)	ノビエ5葉以内、(播種後10日~)収穫50日前まで	薬剤1000ml 希釈水量70~100%	散布後3~4日間は、入水・落水しない。
	トドメバスMF液剤(落水処理)	ノビエ6葉期まで(播種後10日~)収穫50日前まで	薬剤1000ml 希釈水量100%	散布後3~4日間は、入水、落水しない。
	アクシズMX1キロ粒剤(湛水処理)	ノビエ4葉期まで収穫45日前まで	1kg/10a	散布後7日間は、入水・落水しない。
ノビエのみ	トドメMF1キロ粒剤(湛水処理)	ノビエ4葉以内、収穫50日前まで	1kg/10a	散布後7日間は、入水・落水しない。
	トドメMF乳剤(雑草茎葉散布)	ノビエ6葉以内 収穫50日前まで	薬剤200ml 希釈水量100%	※展着剤は不要。
広葉雑草(ノビエ以外)	バサグラン粒剤(落水処理)	イネ3葉期~ 入水50日後 収穫60日前まで	3kg/10a	散布後3~4日間は、入水・落水しない。